

科目名		授業形態	担当教員名	
医療安全管理学Ⅱ		講義	岩井 克磨・田中 悟・岸部 洋・小川 聡美	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
15 時間（1 単位）		8 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
放射線機器を含む医療機器及び造影剤を含む医薬品にかかわる安全管理について学習する。 肛門・鼻腔へのカテーテル挿入からの造影剤注入、抜去方法や核医学検査時の医薬品注入方法など、診療放射線技師が行うことができる医療行為について学習し業務に必要な技能を身につけることを目的とする。また、画像検査室や放射線治療業務においてどのような医療事故が起こり得るのか、実際の事例を取り上げ対策を検討する。				
授業の到達目標				
1.医療機器の安全管理を修得する。 2.造影剤の取り扱いや患者急変時の対応を説明できる。 3.カテーテルの挿入および抜去、造影剤の注入、空気の吸引・注入、核医学検査医薬品の注入ができる技能を身につける。 4.実際に起きた医療事故の原因と対策を考察し、危険予知能力を熟練する。				
授業計画				
回	内容			
1	造影剤・医薬品の安全管理			
2	一次救命処置			
3	一般撮影室・CT室・MRI室の安全管理			
4	放射線治療・IVR施行時の安全管理			
5	透視室での安全管理			
6	核医学検査の安全管理			
7	危険予知トレーニング			
8	まとめと解説			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	70%			
レポート・課題				
小テスト	30%	2回実施する。		
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
新医用放射線科学講座 医療安全管理学	石田隆行		医歯薬出版株式会社	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				